

- ① 本申告の対象者は、申請者本人又は生計維持者が基準日(前期:4月1日、後期:10月1日)において事故又は病気により半年以上就労が困難な状態にある場合、又は基準日前1年以内において失職(非自発的失業)した場合です。提出は任意です。
- ② **本申告書は、2019年度以前入学の学部生および2023年度以前入学の大学院生の授業料免除申請では使用できません。**
- ③ **必要事項を記入し、申告事由に応じた添付書類を添えて他の申請書類とともに提出してください。**

家計急変申告書(就労困難・非自発的失業)

信州大学長 殿

私は、入学料又は授業料にかかる免除又は徴収猶予を申請するにあたり、下記のとおり申告します。

なお、申請内容に虚偽があった場合は審査の対象から除外されること、判定後に虚偽の内容が明らかになった場合は免除の許可の取り消しがされることを了承いたします。

▼該当する事由いづれかにチェックをし、必要事項を記入してください。

| | | |
|-------------------------------|----------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 就労困難 | 就労困難者の氏名 | 学生との続柄 |
| | 就労困難となった日 | (西暦) 年 月 日 |
| | 事情欄 (具体的に記入ください) | |
| | 前学期申請時の 家計急変申告の有無 | <input type="checkbox"/> あり ^{※1} <input type="checkbox"/> なし <small>※1 前学期に同じ事情で家計急変申告書を提出している場合は「あり」をチェック</small> |
| | 添付書類 | <input type="checkbox"/> 診断書のコピー ^{※2} (<input type="checkbox"/> 前学期に診断書を提出したので今学期は提出を省略する ^{※3}) <small>※2 診断書には「就労困難な状況が開始した日」及び「就労困難」であること、その期間が半年以上である旨が記載されていることが必要です。 ※3 前学期も同様の事情で家計急変申告書を提出している方で、前学期に診断書のコピーを提出していれば、当該学期の申請時は診断書のコピーの提出を省略できます。(同事情の場合でも1年に1度は診断書の提出が必要になります)</small> |
| <input type="checkbox"/> 失職 | 失職者の氏名 | 学生との続柄 |
| | 失職した日 | (西暦) 年 月 日 ^{※4} <small>※4 失職した日(離職日)が基準日前1年以内の場合が本申告の対象です。</small> |
| | 事情欄 (具体的に記入ください) | |
| | 再就職の有無 | <input type="checkbox"/> 再就職していない <input type="checkbox"/> 再就職した ^{※5} <small>※5 再就職している場合は本申告の対象外です。</small> |
| | 添付書類 | <input type="checkbox"/> 雇用保険受給資格者証のコピー(第1・3・4面) ^{※6, 7} <small>※6 離職票は不可です。また、再就職の確認のため最新のものを提出してください。 ※7 本申告の対象は離職理由コードが「11(1A)」 「12(1B)」 「21(2A)」 「22(2B)」 「23(2C)」 「31(3A)」 「32(3B)」 「33(3C)」 「34(3D)」 のいずれかの場合です。</small> |

★ キャンパス情報システムにて「免除願」(入学料の場合は「家計調書」)を入力する際、上記で就労困難又は失職の者として申告した方の「合計所得金額」と「所得控除合計」は以下の金額を入力してください。

| | | |
|-----------------|---------|----|
| 「就労困難者」又は「失業者」の | 合計所得金額: | 0円 |
| | 所得控除合計: | 0円 |

- ① 本申告の対象者は、申請者本人又は生計維持者が基準日(前期:4月1日、後期:10月1日)において事故又は病気により半年以上就労が困難な状態にある場合、又は基準日前1年以内において失職(非自発的失業)した場合です。提出は任意です。
- ② 本申告書は、2019年度以前入学の学部生および2023年度以前入学の大学院生の授業料免除申請では使用できません。
- ③ 必要事項を記入し、申告事由に応じた添付書類を添えて他の申請書類とともに提出してください。

家計急変申告書(就労困難・非自発的失業)

信州大学長 殿

私は、入学料又は授業料にかかる免除又は徴収猶予を申請するにあたり、下記のとおり申告します。

なお、申請内容に虚偽があった場合は審査の対象から除外されること、判定後に虚偽の内容が明らかになった場合は免除の許可の取り消しがされることを了承いたします。

▼該当する事由いづれかにチェックをし、必要事項を記入してください。

| | | | | |
|--|---------------------|--|--------|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 就労困難 | 就労困難者の氏名 | 信州 一郎 | 学生との続柄 | 父 |
| | 就労困難となった日 | (西暦) 20●● 年 1 月 15 日 | | |
| | 事情欄 (具体的に記入ください) | 今年に入ってから、父が●●●●(病名等)という病気を患っていることが判明し、担当医からは少なくとも1年間は働くことは困難であると診断されました。治療のため勤めている会社を1月15日から、1年間休職しております。治療には月●●万円かかっていますが、父の傷病手当金から捻出していて、残額は僅かしかなく家族の生活は困窮している状況です。 | | |
| | 前学期申請時の家計急変申告の有無 | <input type="checkbox"/> あり ^{※1} <input checked="" type="checkbox"/> なし <small>※1 前学期に同じ事情で家計急変申告書を提出している場合は「あり」をチェック</small> | | |
| | 添付書類 | <input checked="" type="checkbox"/> 診断書のコピー ^{※2} (<input type="checkbox"/> 前学期に診断書を提出したので今学期は提出を省略する ^{※3}) <small>※2 診断書には「就労困難な状況が開始した日」及び「就労困難」であること、その期間が半年以上である旨が記載されていることが必要です。 ※3 前学期も同様の事情で家計急変申告書を提出している方で、前学期に診断書のコピーを提出していれば、当該学期の申請時は診断書のコピーの提出を省略できます。(同事情の場合でも1年に1度は診断書の提出が必要になります)</small> | | |
| <input type="checkbox"/> 失職 | 失職者の氏名 | | 学生との続柄 | |
| | 失職した日 | (西暦) 年 月 日 ^{※4} | | |
| | 事情欄 (具体的に記入ください) | | | |
| | 再就職の有無 | <input type="checkbox"/> 再就職していない <input type="checkbox"/> 再就職した ^{※5} <small>※5 再就職している場合は本申告の対象外です。</small> | | |
| | 添付書類 | <input type="checkbox"/> 雇用保険受給資格者証のコピー(第1・3・4面) ^{※6, 7} <small>※6 離職票は不可です。また、再就職の確認のため最新のものを提出してください。 ※7 本申告の対象は離職理由コードが「11(1A)」 「12(1B)」 「21(2A)」 「22(2B)」 「23(2C)」 「31(3A)」 「32(3B)」 「33(3C)」 「34(3D)」 のいずれかの場合です。</small> | | |

★ キャンパス情報システムにて「免除願」(入学料の場合は「家計調書」)を入力する際、上記で就労困難又は失職の者として申告した方の「合計所得金額」と「所得控除合計」は以下の金額を入力してください。

| | | |
|-----------------|---------|-----|
| 「就労困難者」又は「失業者」の | 合計所得金額： | 0 円 |
| | 所得控除合計： | 0 円 |